



第53回熊本県芸術文化祭参加

Freie Kunst Gemischte Liedertafel

熊本大学合唱団

第66回定期演奏会

指揮 藏岡多可士

無伴奏混声合唱組曲 **花に** 国枝春恵

フォスターメドレー フォスター

クリスマス歌曲

Advent-Motetten op.176より

ラインベルガー

Missa Quarti toni

ヴィクトリア

一般 800円 (当日1000円)

学生 400円 (当日500円)

お問い合わせ：080-1748-2768 (吉田)

平成23年 **12月3日** (土)

熊本県立劇場コンサートホール

開場 13:30 開演 14:00

主催：熊本大学合唱団

当日は会場に募金箱を設置いたします。集まったお金は日本赤十字社を通じて寄付し、東日本大震災支援及び台風・大雨被害支援にあてさせていただきます。

後援：熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・熊本県文化協会・熊本日日新聞社
NHK熊本放送局・RKK・KKT・TKU・KAB・エフエム熊本・熊本音楽連盟

熊本大学合唱団 Freie Kunst Gemischte Liedertafel
第66回定期演奏会

常任指揮 藏岡 多可士



1930年、福岡にて出生。熊本大学合唱団の常任指揮者を務め今年で53年目となる。現在までにモーツァルト「レクイエム」、J.S.バッハ「口短調ミサ曲」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」他合唱・管弦楽作品を多数指揮。多くの合唱団の指導育成にあたっており、熊本の音楽界の第一人者として活躍中である。

作曲 国枝 春恵



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。作品はタングルウッド現代音楽祭、国際現音ルクセンブルク大会、スウェーデン大会等で演奏されている。2005年NHK交響楽团委嘱作曲家。熊本大学准教授。
<http://www.harue-kunieda.com>

<曲解説>

無伴奏混声合唱組曲「花に」(1998) 国枝 春恵

急逝したピアニストのレクイエムとして作曲した無伴奏混声合唱組曲である。全体はIV章に別れており、静心なく散っていく桜を惜しみながら詠んだ紀友則、山桜のみが語りかける対象であった僧正行尊の哀愁、若くして世の中の常を詠んだ清輔朝臣、世の無常を詠んだ西行法師の幽玄、そして芳しい花橘の香の懐かしさを歌った詠み人知らずの歌、仏の世界への使者である時鳥の一声を詠んだ紀貫之の驚嘆、その飛び立った一瞬の情景を描写した藤原定家、最後に母との惜別を絶叫した藤原定家、という流れで構成されている。

Missa Quarti toni Victoria (ヴィクトリア)

ヴィクトリアはスペインのアビラで生まれ、15才ごろにローマに留学、1571年にはパレストリーナの後任者としてローマ神学校音楽教師となる。

当時流行していた世俗音楽に対し、聖職者として教会音楽にこだわり、スペインの教会音楽の発展に貢献した。

このミサ曲は、教会旋法の第4番「ヒュボフリーギア」をもとに作曲されており、ムジカ・フィクタを取り入れることにより叙情的な旋律をつくり出している。